

## 別紙

### 授業アンケートの実施について：回答率の向上のために

#### 1. 回答方法

最終回の授業では最後の一定時間（5－10分程度）を授業アンケートの回答作業に当て、学生にはパソコンあるいはスマートフォンを使用してその場で回答するよう指示してください。任意の時間・場所で回答させることは、回答率の低下につながるため極力避けて下さい。なお、遠隔授業の場合も対面授業の場合に準じて対応し、ライブ中継であれば、最後の時間を使ってその場で回答させ、オンデマンドであれば、配信動画の最後に回答時間を確保し、授業の流れの中で回答させるようにしてください。

#### 2. アクセス方法

学生にはまず「manaba」にアクセスしてから「学務支援システム」のアンケート画面に進むよう、指示してください。具体的には以下の順にページを移動することになります。①「manaba」→②「授業アンケート」のコース→③「コースニュース」→④「学務支援システム」のログイン画面→⑤「学務支援システム」のアンケート画面（受講科目の一覧表示）→⑥当該科目のアンケート画面  
なお、アクセスが集中して通信障害が発生した場合は、受講生を複数のグループに分け（学籍番号の奇数・偶数、所属学部・学科など）、グループごとに順番に回答させるようにしてください。

#### 3. 教員の自由設問

必要に応じて、C「教員による自由設問」も活用してください。活用の際は、下記の用例を参考にし、学生には質問内容を口頭・板書で指示してください。なお、システムの回答形態は自由記述式に設定しておりますので、ご注意ください。

##### 例1（共通の選択肢を流用する場合）

「〇〇の仕組みは十分理解できましたか。上記5つの選択肢で回答してください。」

##### 例2（独自の選択肢を設定する場合）

「この授業では、いくつかの形態を併用しましたが、どれがよかったですか。

1. 対面授業
2. オンライン（ライブ中継）
3. オンライン（動画配信）」

##### 例3（自由記述型）

「これまでの授業を振り返って、〇〇であった点について自由に書いてください。」

なお「(D) 学生による自由回答」では、参考事例として、例えば「良かったと思う点や改善を求めたい点について書いてください」と指示しているため、内容の重複に注意してください。